



練馬区立早宮小学校  
校長 今村 理恵  
養護教諭 村上 恵美子  
平成 24 年 9 月 21 日 発行  
《臨時号》  
(家庭数配布)

## マイコプラズマ肺炎にご注意ください！

9月頃より、本校でもマイコプラズマ肺炎に罹る児童がでています。本校の内科校医吉野先生からも、「練馬区内でもマイコプラズマ肺炎が、流行ってきている。咳が長く続くようならば、マイコプラズマ肺炎も疑い、早めに病院を受診した方が良いでしょう。」との話も伺いました。感染の拡大は通常閉鎖集団などで、塾や習い事、学校や家庭での濃厚接触によるものが多くみられます。朝晩と昼間の気温差が大きくなり始め、体調を崩したり、咳やのどの痛みでマスクを着用している児童も増えてきたようです。ぜひ、ご注意ください。

### マイコプラズマ肺炎とは？

マイコプラズマ感染症は、マイコプラズマの感染による咳を主症状とした急性呼吸器感染症です。

<病原体> 「肺炎マイコプラズマ」という細菌

<潜伏期間> 2～3週間

<伝染期間> せきなどの症状が強い急性期

<伝染の仕方> 飛沫感染

<症状> 発熱、せきなどのかぜに似た症状。とくに咳が特徴的。気管支炎、肺炎などが代表的な病状で、咳がしつこく続くときに感染が疑われる。

肺炎にしては元気で一般状態も悪くないこともある。

<予防> 特異的な予防方法はなく、流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けること。

患者の咳から、感染するので、咳の症状がある場合は、マスクを着用するなどの咳エチケットを守りましょう。

<登校について> 急性期が過ぎて、ひどい咳などの症状が改善され全身状態が良いようになれば登校可能。

感染性胃腸炎の患者も発生してきています。  
しっかりうがい・手洗いを行うようにしてください。

